

甲南高等學校一覽

昭和十六年六月

416

特248

288



\* 0051181000 \*

0051181-000

特248-288

甲南高等学校一覽

甲南高等学校・編纂

甲南高等学校

昭和16年6月

昭和16

AHM

特 248  
288

校歌



一、沈黙の鐘の鳴り響き

静かなる心は霧霽れて

清き精神の火は燃えて

あま青春を惜しむ間に

胸より胸に傳へつゝ

見よや園には露しげく

花の形は異れど

五、鐵の腕を振りあげて

わが世の森に分け入らば

六、いざや甲の緒を締めて

吾が白城の影深く

ほのぼの明くる朝ぼらけ

緑の森に彩られ

眞の道を求めんと

個性の光輝ける

星霜移り人去れど

堅き甲を載きて

自然の薫たかき土

やがては結ぶ清き實の

知徳の燈翳す時

未知の世界は開かれて

正義の下に戦はん

永久に大地に宿るべし

花雲宿る秀峰の

しるくも浮ぶ學の舎

理想に進む一條の

自由の天地生れ來ぬ

この歡をと

眞の人に進まば

育くまれ行く向上の

永き生命を誇りなる

崇き希望を歌ひつゝ

榮冠つひにわがものぞ

五百の健兒集ひては

起て甲南の快男兒





# 甲南高等學校一覽

昭和十六年六月現在

## 目次

一、校歌	見返
二、沿革	一
三、學則	八
第一章 總則	八
第二章 學年、學期及休業日	八
第三章 學科課程及教授時數	九
第四章 入學、休學、退學及懲戒	一五
第五章 進級及卒業	一九
第六章 入學考查料、入學料及授業料	二〇
四、校務分掌規程	三三
五、會議規程	三一

- 六、當直規程……………三
- 七、非常時警備規程……………三
- 八、圖書規程……………五
- 九、總代、學級幹事規程……………四
- 一〇、服裝規程……………四
- 一一、報國團規則……………四
  - 第一章 總則……………四
  - 第二章 事業組織……………四
  - 第三章 役員及其ノ職掌……………四
  - 第四章 役員會……………四
  - 第五章 會計……………四
  - 第六章 附則……………四
- 一二、報國團細則……………四
  - 第一 總務部細則……………四
  - 第二 鍛鍊部細則……………四

- 第三 國防訓練部細則……………四
- 第四 文化部細則……………四
- 第五 生活部細則……………四
- 第六 會計經理細則……………四
- 一三、理事及職員……………三
  - 1、理事……………三
  - 2、職員……………三
  - 3、學級主任……………三
  - 4、學科主任……………三
  - 5、事務分課……………三
  - 6、報國團役員……………三
- 一四、各種統計表……………三
  - 1、現在學年別生徒數……………三
  - 2、現在生徒父兄住所地方別……………三
  - 3、累年在學生徒數……………三

4、卒業生進入大學學部調……………六  
 5、校地及校舎……………七一

## 二、沿革

本校ハ明治以降我國ノ教育ガ知育ニ偏シ德育ヲ輕ンジ體育ニ力ヲ致ササルヲ見テ之ガ革新ノ必要ヲ認メ、阪神間ニ於ケル教育ニ熱心ナル實業家有志ノ發企ニ依リ設立セラレタルモノニシテ、其ノ教育方針ハ人格ノ修養ト健康ノ増進ヲ第一義トシ個性ニ應ジテ天賦ノ智能ヲ啓發スルニ在リ。乃チ大正八年四月先ヅ甲南中學校ヲ起シ、尋イテ大正十二年一月高等學校令ニ依ル高等學校設立ノ認可ヲ得同年四月本邦最初ノ七年制高等學校トシテ本校ヲ開校スルニ至レリ。以下其ノ沿革ノ大要ヲ略記スベシ

### 大正七年

五月 田邊貞吉、久原房之助、平生飢三郎、河内研太郎、安宅彌吉、伊藤忠兵衛、千浦友七郎、四本萬二ノ諸氏相圖リ私立中學校ノ設立ヲ計畫シ資金ヲ募集ス  
 十月 兵庫縣武庫郡本山村（二樂莊山麓）ニ學校敷地壹萬餘坪ヲ購入シ直ニ其ノ土工ニ着手ス  
 十二月 財團法人甲南學園私立甲南中學校設立ノ件並私立甲南中學校設置ノ件認可セラレ前記ノ發起者理事ニ就任シ互選ニ由リ田邊貞吉氏理事長トナル

- 大正八年
- 一月 前静岡市長小森慶助氏私立甲南中學校長ニ就任ス
  - 四月 第一學年生徒ヲ募集シ假校舍ニ於テ授業ヲ開始ス
  - 大正十年
  - 三月 西館(普通教室)一棟及屋内體操場竣工ス
  - 校名私立ノ冠稱ヲ削除ス
  - 十二月 教育ニ關スル 勅語謄本ヲ拜載ス
  - 大正十一年
  - 七月 特別教室及講堂竣工ス
  - 大正十二年
  - 一月 財團法人寄附行爲改正ノ件認可セラレ法人名ヲ財團法人甲南學園ト改稱ス
  - 甲南中學校廢止(昭和二年三月三十一日限)並大正七年勅令第三百八十九號高等學校令ニ基ク七年制甲南高等學校設立ノ件認可セラレ
  - 二月 甲南中學校長小森慶助氏現職ノ儘甲南高等學校長ニ就任ス
  - 三月 本館及東館(普通教室)各一棟竣工ス

- 四月 甲南中學校生徒ノ一部ハ試験ノ上之ヲ甲南高等學校ノ相當學年ニ編入シ更ニ尋常科第一學年及高等科第一學年生徒ヲ募集シ授業ヲ開始ス
- 四月 理事四本萬二氏退任シ野村徳七氏理事ニ就任ス
- 大正十三年
- 六月 學校長小森慶助氏退任シ前第六高等學校長丸山環氏甲南高等學校長並甲南中學校長ニ就任ス
- 十月 理事千浦友七郎氏退任シ山田穆氏理事ニ就任ス
- 大正十四年
- 四月 各學年完成ス
- 九月 陸軍省文部省告示第五十三號ヲ以テ徵兵令第十三條第一項第二號ニ依リ認定セラレ
- 大正十五年
- 一月 學則ヲ改正シ高等科ニ無試験檢定入學ニ關スル規定ヲ追加シ本年ヨリ實施ス
- 理事長田邊貞吉氏逝去ニ付互選ニ由リ理事平生飢三郎氏理事長ニ就任ス
- 四月 武道場及校友會部室竣工シ校舍完成ス
- 第一回卒業證書授與式ヲ舉行ス

- 昭和二年 甲南中學校ヲ廢止ス
- 三月 甲南中學校ヲ廢止ス
- 九月 食堂竣工ス
- 昭和三年
- 十月 久邇侯爵御來校遊バサル
- 十一月 久邇宮邦彥王殿下 同妃殿下御臨授業並校内ヲ御巡覽遊バサル
- 十二月 本校並甲南中學校關係者ノ追悼祭ヲ行フ
- 昭和四年
- 五月 本校校旗制定式ヲ行フ
- 六月 天皇陛下大阪市ニ行幸遊バサレ二府五縣ノ學生生徒青年等ヲ御親閱アラセラル。本校高等科生徒六十名尋常科第三、第四學年生徒百二十五名職員八名參加受閱ノ光榮ニ浴ス
- 天皇陛下神戸市ニ行幸ノ際特別ノ思召ヲ以テ岡本侍從ヲ本校ヘ御差遣アラセラル
- 昭和六年
- 十月 本校父兄有志ノ發起ニ依リ校舍内蒸氣暖房裝置ノ寄附ヲ受ク
- 昭和七年

- 二月 教育ノ任ニ在ル者ニ對シ下シ給ヘル 勅語謄本ヲ拜載ス
- 十月 理事河内研太郎氏逝去
- 十一月 天皇陛下大阪市ニ行幸遊バサレ二府五縣ノ學生生徒青年等ヲ御親閱アラセラル。本校高等科生徒六十名尋常科第四學年生徒五十名職員四名參加受閱ノ光榮ニ浴ス
- 昭和八年
- 十月 學校長丸山環氏退任シ理事長平生夙三郎氏甲南高等學校長ニ兼任ス
- 昭和九年
- 十月 天皇陛下 皇后陛下ノ 御眞影ヲ拜載ス
- 昭和十年
- 四月 學校長平生夙三郎氏訪伯經濟使節團長トシテ南米ブラチル國ニ出張シ十月歸朝ス
- 十二月 學校長平生夙三郎氏貴族院令第一條ニ依リ貴族院議員ニ任ゼラル
- 學校長平生夙三郎氏ブラチル國情ニ就キ宮中ニ於テ御前講演ヲ爲ス

昭和十一年

- 三月 學校長平生夙三郎氏文部大臣ニ親任セララル
- 四月 理事長平生夙三郎氏文部大臣就任中理事伊藤忠兵衛氏理事長代理ニ就任ス

學校長平生夙三郎氏退任シ教頭神田正悌氏甲南高等學校長事務取扱ニ兼任ス

昭和十二年

二月 理事長平生夙三郎氏依願文部大臣ヲ免ゼラル

三月 理事長平生夙三郎氏甲南高等學校長ニ兼任シ教頭神田正悌氏ノ學校長事務取扱ヲ解ク

五月 本校關係有志相謀リ本館前庭ニ本校創立者平生夙三郎氏ノ壽像ヲ建設ス

學校長平生夙三郎氏文教審議會委員仰付ケラル

十二月 學校長平生夙三郎氏教育審議會委員仰付ケラル

昭和十三年

二月 學校長平生夙三郎氏北支經濟委員會委員長ニ任ゼラル

四月 本校創立二十周年記念式ヲ舉行ス

六月 學校長平生夙三郎氏退任シ元南滿洲鐵道株式會社地方部長保々隆矣氏甲南高等學校長ニ就任ス

七月 阪神地方ヲ襲ヘル大水災ニ本校校地校舍亦相當ノ被害ヲ蒙ル。九月大部分復舊ス

十月 理事山田穆氏逝去

昭和十四年

三月 關桂三氏理事ニ就任ス

五月 學校長保々隆矣氏退任シ理事長平生夙三郎氏甲南高等學校長ニ兼任ス

學校長平生夙三郎氏北支經濟委員會委員長ヲ辭任ス

陸軍現役將校學校配屬令公布十五年ニ當リ宮城前廣場ニ於テ全國學生生徒ヲ 御親閱アラセラル。本校高等科生徒十名職員三名、尋常科生徒十名職員二名參加受閱ノ光榮ニ浴ス

八月 青少年學徒ニ賜ハリタル 勅語謄本ヲ拜載ス

昭和十五年

七月 學則ヲ改正シ本校記念日ヲ四月八日ニ改ム

十月 教育ニ關スル 勅語煥發五十年ノ佳辰ニ當リ學校長平生夙三郎氏民間教育功勞者トシテ文部大臣ヨリ表彰セラル

十一月 紀元二千六百年記念事業ノ一トシテ寄宿道場建設ノ計畫ヲ起シ新ニ資金ヲ募集シ先ヅ之ガ敷地一千八百餘坪ヲ購入ス

昭和十六年

一月 京都帝國大學教授天野貞祐氏ニ本校顧問ヲ委囑ス

四月 校友會ヲ解消シ新ニ甲南高等學校報國團ヲ結成シ生徒ノ修練ヲ開始ス



### 三、學 則

#### 第一章 總 則

- 第一條 本校ハ大正七年勅令第三百八十九號高等學校令ニ基キ男子ノ高等普通教育ヲ完成スルヲ以テ目的トシ特ニ國民道德ノ充實ニ力ムルモノトス
- 第二條 本校ノ修業年限ハ七年トシ尋常科四年高等科三年トス
- 第三條 高等科ハ之ヲ分チテ文科及理科トス
- 第二章 學年、學期及休業日
- 第四條 學年ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル
- 第五條 學年ヲ分チテ左ノ三學期トス
  - 第一學期 四月一日ヨリ八月三十一日ニ至ル
  - 第二學期 九月一日ヨリ十二月三十一日ニ至ル
  - 第三學期 一月一日ヨリ三月三十一日ニ至ル
- 第六條 休業日左ノ如シ

一、日 曜 日

一、祝 日、祭 日

一、本校記念日 四月 八 日

一、春 季 休 業

尋 常 科 三月二十一日ヨリ四月七日ニ至ル

高 等 科 同 上

一、夏 季 休 業

尋 常 科 七月二十日ヨリ八月三十一日ニ至ル

高 等 科 七月十一日ヨリ八月三十一日ニ至ル

一、冬 季 休 業

尋 常 科 十二月二十五日ヨリ一月七日ニ至ル

高 等 科 同 上

#### 第三章 學科課程及教授時數

##### 第一節 尋 常 科

第七條 尋常科ノ學科目及每週教授時數左ノ如シ

學年學期及休業日 學科課程及教授時數

學科課程及教授時數

學科目	學年		第一學年	第二學年	第三學年	第四學年
	身	科				
修身			一	一	一	一
公民科					一	一
國語及漢文			七	七	六	六
英語			六	七	六	六
歷史			日本地理 三三	世界地理 上二三	外國歷史 上二三	同上
地理			同上	同上	同上	同上
理科			二	二	四	五
數學			算術 四	代數 四	幾何 四	同上 四
圖畫			自在畫 一	同上 一	自在畫 一	同上 一
唱歌			一	一		
作業科			一	一	一	一
體操			五	五	五	五

第二節 高等科  
第八條 高等科各科ノ學科目及每週教授時數左ノ如シ

文科

計	三二	三三	三三	三三
---	----	----	----	----

學科目	學年		第一學年	第二學年	第三學年
	身	科			
修身			一	一	一
國語及漢文			六	五	五
第一外國語			九	八	八
第二外國語			(四)	(四)	(四)
歷史			三	五	四
地理			二		
哲學概說					五

學科課程及教授時數

學課程及教授時數

計	體操	自然科學	數學	法制及經濟	心理及論理
(三) 三九	三	二	三		
(三) 三九	三	三		二	二
(三) 三六	三			二	二

第一外國語ハ英語、第二外國語ハ獨語トス但シ生徒ノ志望ニ依リテ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ル

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語		二	10	10
第二外國語		(三)	(三)	(三)

理科

計	(三) 三九	(三) 三九	(三) 三六
---	--------	--------	--------

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
修身		一	一	一
國語及漢文		四	二	
第一外國語		八	六	六
第二外國語		(四)	(四)	(四)
數學		四	四	(二) 四
物理學			三	三
化學			三	三
植物及動物		二	二	實講 義驗 二二 四五
植物及地質		二		實講 義驗 二二 四五

學課程及教授時數

	心理	法制及經濟	圖書	體操	計
第一學年	二	二	二	三	(三)六
第二學年	二		二	三	(三)六
第三學年	二		三	三	(三)六

第三學年ノ數學(二)及圖畫(二)ト第三學年ノ植物及動物講義(二)實驗(二)四トハ生徒ヲシテ其一ヲ選擇セシム

第一外國語ハ英語、第二外國語ハ獨語トス但シ生徒ノ志望ニ依リテ第一外國語ノ種類ヲ轉換スルコトヲ得シム此ノ場合ニ於テハ各學年ニ於ケル第一外國語及第二外國語ノ每週教授時數ハ左表ニ依ル

學科目	學年	第一學年	第二學年	第三學年
第一外國語		一〇	九	九

	第二外國語	計
第一學年	(三)	(三)〇
第二學年	(三)	(三)四
第三學年	(三)	(三)一

第四章 入學、休學、退學及懲戒

第九條 入學ノ時期ハ每學年ノ始ヨリ三十日以内トス

第十條 入學ヲ志望スル者ハ本校所定ノ願書ニ入學考査料ヲ添ヘテ出願スベシ

高等科入學志願者ハ其ノ入學後修業セントスル科及類ヲ指定スベシ

指定スベキ科及類ハ左ノ如シ

文科甲類 英語ヲ第一外國語トスルモノ

文科乙類 獨語ヲ第一外國語トスルモノ

理科甲類 英語ヲ第一外國語トスルモノ

理科乙類 獨語ヲ第一外國語トスルモノ

第十一條 尋常科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當シ且身體檢査ヲ受ケテ之ニ合格シタル者タルベシ

一、國民學校初等科ヲ修了シタル者

入學、休學、退學及懲戒

- 二、他ノ高等學校又ハ中學校豫科ヲ修了シタル者
- 第十二條 高等科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル者ハ本校尋常科ヨリ高等科ニ進入スル者ノ外左ノ各號ノ一ニ該當シ且身體検査ヲ受ケテ之ニ合格シタル者タルベシ
  - 一、他ノ高等學校尋常科ヲ修了シタル者
  - 二、中學校第四學年ヲ修了シタル者
  - 三、高等學校高等科入學資格試験ニ合格シタル者
  - 四、專門學校入學者檢定規程ニ依リ試験檢定ニ合格シタル者
  - 五、文部大臣ニ於テ高等學校高等科ノ入學ニ關シ指定シタル者
  - 六、文部大臣ニ於テ一般ノ專門學校ノ入學ニ關シ中學校卒業者ト同等以上ノ學力アリト指定シタル者
- 第十三條 本校尋常科ヲ修了シタル者ハ其ノ他ノ志願者ニ先ダチ之ヲ高等科ニ進入セシム
- 第十四條 前條ニ依リ本校尋常科ヲ修了シタル者ヲ進入セシメ猶缺員アル場合ハ入學前ニ於ケル學業成績ト中學校第四學年修了程度ニ依リ行フ試験ノ成績トヲ併セ考查シテ入學者ヲ選拔ス但シ試験ハ之ヲ行ハザルコトアルベシ
- 前項考查ノ外必要アリト認ムルトキハ入學志願者ニ對シ人物考查ヲ行フコトアルベシ

- 第十五條 尋常科第二學年以上ニ入學ヲ許スベキ者ハ第一學年ニ入學スル資格ヲ有シ且前學年ノ課程ヲ修了シタル者ト同等以上ノ學力ヲ有シ身體検査ニ合格シタル者タルベシ
- 前項入學者ノ學力ハ當該學年ノ程度ニ於テ之ヲ檢定ス
- 第十六條 本校生徒ニシテ學籍ヲ失ヒタル者其ノ學籍ヲ失ヒタル時ヨリ二年以内ニ再入學ヲ志願シタル時ハ詮衡ノ上當該學年又ハ翌學年ノ學年ノ始ヨリ三十日以内ニ於テ同一學年以下ノ學年ニ限り入學ヲ許可スルコトアルベシ
- 第十七條 入學ノ許可ヲ得タル者ハ保證人ヲ定メ七日以内ニ本校所定ノ在學證書及戶籍謄本ヲ學校長ニ差出スベシ
- 前項ノ手續ヲ了セザル者ニ對シテハ其ノ入學許可ヲ取消スコトアルベシ
- 保證人ニ關シテハ別ニ之ヲ定ム
- 第十八條 生徒疾病又ハ事故ニ依リ一週間以上出席シ得ザル見込ノ者ハ（疾病ノ場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ）其ノ旨保證人連署ノ上届出ヅベシ
- 第十九條 生徒疾病又ハ事故ニ依リ三ヶ月以上出席シ得ザル見込ノ者ハ其ノ事由ヲ具シテ（疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ）保證人連署ノ上當該學年間ノ休學ヲ願出ヅルコトヲ得
- 第二十條 現役ニ服シ若クハ召集ニ應ズル者ハ其ノ期間休學トス

第二十一條 生徒疾病又ハ事故ニ依リ退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シテ（疾病ノ場合ハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ）保證人連署ノ上其ノ旨願出ツベシ

第二十二條 生徒ハ學校長ノ許可ヲ得ルニアラザレハ他學校ニ入學又ハ轉學ヲ出願スルコトヲ得ズ  
第二十三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命ズ

一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二、學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三、引續キ一年以上缺席シタル者

四、正當ノ事由ナクシテ引續キ一ヶ月以上缺席シタル者

五、出席常ナラザル者

六、引續キ二回進級スルコト能ハザル者但シ第二十條ニ依リ休學トナリタル場合又ハ特別ノ事情アル者ヲ除ク

七、第二十二條ノ許可ヲ受ケズシテ他學校ニ入學又ハ轉學ヲ出願シタル者

八、授業料納付ノ見込ナキ者

前項ノ外學校長ニ於テ臨機退學處分ヲ爲スコトアルベシ

第二十四條 學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトアルベシ

懲戒ハ戒飭、停學、放校トス

### 第五章 進級及卒業

第二十五條 尋常科ニ於テハ生徒ノ進級又ハ修了ハ平素ノ學業成績、操行及勤惰ヲ考查シテ之ヲ定ム

第二十六條 高等科ニ於テハ生徒ノ進級又ハ卒業ハ平素ノ學業成績、試験ノ成績、操行及勤惰ヲ考查シテ之ヲ定ム但シ正當ノ事由アリテ試験ニ缺席シタル者ニ對シテハ平素ノ學業成績、操行及勤惰ヲ考查シテ之ヲ定ムルコトアルベシ

試験ハ學校長ノ見込ニヨリ之ヲ行ハザルコトアルベシ

第二十七條 各學科ノ成績ニ對シ評點ヲ附ス

評點ハ尋常科高等科ヲ通ジテ各壹百點ヲ定點トス

第二十八條 學業成績ハ尋常科高等科ヲ通ジテ各學科目六十點以上ヲ合格トス但シ全成績ヲ參酌シテ特ニ進級、修了又ハ卒業ヲ認ムルコトアルベシ

第二十九條 操行及勤惰ノ狀況不良ナリト認ムルトキハ學業成績ノ如何ニ拘ラズ原級ニ止ムルコトアルベシ

第三十條 成績不良ニシテ不合格トナリ原級ニ止メタル者ニハ次學年ノ初ヨリ當該學年ノ全學科

入學考査料、入學料及授業料

ヲ再修セシム

第三十一條 尋常科ノ課程ヲ修了シタル者、高等科ノ課程ヲ卒業シタル者ニハ別表様式ノ修了證書  
又ハ卒業證書ヲ授與ス

第六章 入學考査料、入學料及授業料

第三十二條 入學ヲ志願スル者ハ左ノ入學考査料ヲ納ムベシ

尋常科 金 五 圓

高等科 金 五 圓

第三十三條 入學ヲ許可セラレタル者ハ指定ノ期日迄ニ入學料金五圓ヲ納付スベシ

第三十四條 授業料ハ尋常科年額金百圓、高等科年額金百參拾圓トシ左ノ三期ニ分納スベシ

尋常科 高等科

第一期 金四拾圓 金四拾五圓 四月十一日ヨリ十五日迄ニ納付

第二期 金四拾圓 金四拾五圓 九月十一日ヨリ十五日迄ニ納付

第三期 金貳拾圓 金四拾圓 一月十一日ヨリ十五日迄ニ納付

第三十五條 授業料ハ第二十條ニ依リ休學トナリタル者ニ限り次期以降ノ分納額ヲ免除ス

第三十六條 學期開始後退學スル者ノ授業料ハ其ノ學期分ヲ徵收ス但シ第二十三條ニ該當シ退學ヲ

命ゼラレタル者ノ授業料ハ此ノ限ニ在ラズ

第三十七條 第二十條ニ依リ休學トナリタル者學期ノ中途ニ於テ課業ニ就キタルトキハ當該學期分  
ノ授業料ハ其ノ月分ヨリ之ヲ徵收ス

前項ノ場合ニ於ケル授業料ノ月割額ハ其ノ納期ノ月數ニ依リ計算ス

第三十八條 既納ノ入學考査料、入學料又ハ授業料ハ之ヲ返付セズ

第三十九條 授業料ヲ期日中ニ納付セザルトキハ情狀ニ依リ出席ヲ停止ス

第四十條 品行方正、學力優秀ニシテ特ニ事情アル者ニ對シテハ授業料ヲ免除シ或ハ學資ヲ補給  
スルコトアルベシ

修了證書様式

修了證書

府縣族稱

校印

氏

年 月 日 生 名

右者本校ニ於テ尋常科ノ課程ヲ修了セリ依テ之ヲ證ス

證書様式

證書様式

一一一

年 月 日

甲南高等學校長位勳

氏

名 園

第 號

卒業證書様式

卒業證書

府縣族稱

校印

氏

年 月 日 生

名

右者本校ニ於テ高等科文(理)科ノ課程ヲ修メ正ニ其ノ業ヲ卒ヘタリ依テ之ヲ證ス

年 月 日

甲南高等學校長位勳

氏

名 園

第 號

### 四、校務分掌規程

第一條 本校ニ教頭ヲ置キ學校長ノ指揮ヲ承ケテ校務ヲ統理セシム

教頭ハ教授中ヨリ學校長之ヲ命ズ

第二條 學校長事故アルトキハ教頭其ノ事務ヲ代理ス

第三條 本校ニ教務課、生徒課、庶務課、圖書課及會計課ノ五課ヲ置キ各々校務ヲ分掌セシム

第四條 各課ニ課長ヲ置キ學校長ノ指揮ヲ承ケテ當該各課ノ事務ヲ主管セシム

課長ハ職員中ヨリ學校長之ヲ命ズ

第五條 各課長又ハ他ノ職員ヨリ學校長ニ提出スル文書ハ總テ教頭ヲ經由スベキモノトス

第六條 各課ノ分掌事務ニシテ他課ニ關聯スルモノハ關係各課ノ合議ニ依リテ之ヲ處理スルモノトス

ノトス

第七條 各課員ハ當該課長ノ指揮ヲ承ケテ事務ニ従事シ必要ニ應ジテ他課ノ事務ヲ補助スルモノトス

モノトス

第八條 左記各學科ニ主任ヲ置キ教頭ノ指示ヲ承ケテ當該學科ニ關スル事項ヲ主管セシム

校務分掌規程

一一三



修身、哲學、論理、心理	英語	國語及漢文
歷史、地理	獨語	
數學	物理	經濟
化學	生物、博物	
圖畫	唱歌	物理
體操	武術	道歌

學科主任ハ教員中ヨリ學校長之ヲ命ズ但シ體操主任ハ配屬將校ヲ以テ之ニ充ツ

第九條 各學級ニ主任ヲ置キ教頭ノ指示ヲ承ケ且生徒課ト連絡ヲ保チテ當該學級生徒ノ指導監督ニ當ラシム

學級主任ハ教員中ヨリ學校長之ヲ命ズ

第十條 教務課ノ掌理スベキ事項概ネ次ノ如シ

- 一、學級編制ニ關スル事項
- 二、學科課程、授業時間ノ配當及授業終始ニ關スル事項
- 三、授業上ノ設備ニ關スル事項

四、會議ニ關スル事項

五、教務上ノ命令傳達並通知ニ關スル事項

六、生徒募集及入學者選抜ニ關スル事項

七、試驗及成績ニ關スル事項

八、生徒ノ進級、卒業、退學、休學ニ關スル事項

九、生徒ノ學籍ニ關スル事項

十、生徒及卒業生ノ在學、修、卒業等證明ニ關スル事項

十一、卒業生ノ大學進入其ノ他ニ關スル事項

十二、學力檢定ニ關スル事項

十三、教務課主管ノ文書ノ起案、發送及保管ニ關スル事項

十四、前各號ノ外教務ニ關スル一切ノ事項

第十一條 生徒課ノ掌理スベキ事項概ネ次ノ如シ

- 一、生徒ノ訓育及取締ニ關スル事項
- 二、學校ト家庭トノ連絡ニ關スル事項
- 三、生徒ノ體育及衛生ニ關スル事項

校務分掌規程

- 四、生徒ノ身體検査、體力検査及體力章檢定ニ關スル事項
- 五、生徒ノ勤惰ニ關スル事項
- 六、生徒及卒業生ノ人物證明ニ關スル事項
- 七、生徒ノ徴兵ニ關スル事項
- 八、生徒ノ服裝ニ關スル事項
- 九、生徒ノ郵便物ニ關スル事項
- 十、生徒ノ出版物ニ關スル事項
- 十一、生徒ノ集會ニ關スル事項
- 十二、生徒ノ揭示ニ關スル事項
- 十三、生徒ノ旅行及野外演習ニ關スル事項
- 十四、生徒ノ宿所調査及通學ニ關スル事項
- 十五、生徒ノ乘車船割引證及證明書ニ關スル事項
- 十六、總代、學級幹事ニ關スル事項
- 十七、校內ノ衛生、整理ニ關スル事項
- 十八、集會所及販賣部ニ關スル事項

- 十九、食堂ニ關スル事項
  - 二十、寄宿舍ニ關スル事項
  - 廿一、生徒課主管ノ文書ノ起案、發送及保管ニ關スル事項
  - 廿二、前各號ノ外直接生徒ニ關スル事項
- 第十二條 庶務課ノ掌理スベキ事項概ネ次ノ如シ
- 一、御眞影及 勅語謄本ノ保管ニ關スル事項
  - 二、校長印及校印ノ保管ニ關スル事項
  - 三、校旗ノ保管ニ關スル事項
  - 四、儀式ニ關スル事項
  - 五、諸規則ノ創定改廢ニ關スル事項
  - 六、職員ノ進退、身分及服務ニ關スル取扱事項
  - 七、職員ノ願、屆、伺ニ關スル事項
  - 八、傭外國人ニ關スル事項
  - 九、當直ニ關スル事項
  - 十、文書ノ受付及發送ニ關スル事項

校務分掌規程

校務分掌規程

- 十一、庶務課主管ノ文書ノ起案、發送及保管ニ關スル事項
- 十二、一覽、統計、報告ニ關スル事項
- 十三、記録ノ編纂及保管ニ關スル事項
- 十四、諸學校一覽ノ保管ニ關スル事項
- 十五、職員ノ乘車船割引證ニ關スル事項
- 十六、參觀人及來客ノ應接ニ關スル事項
- 十七、各課ノ主管ニ屬セザル校務上ノ事項

第十三條 圖書課ノ掌理スベキ事項概ネ次ノ如シ

- 一、圖書ノ監守、保管及出納ニ關スル事項
- 二、圖書印ノ保管ニ關スル事項
- 三、寄贈圖書ノ受付ニ關スル事項
- 四、圖書ノ貸付ニ關スル事項
- 五、教科書ノ決定、購入手續其ノ他ニ關スル事項
- 六、圖書閱覽室及其ノ取締ニ關スル事項
- 七、圖書ノ目錄編纂及整理ニ關スル事項

- 八、圖書課主管ノ文書ノ起案、發送及保管ニ關スル事項
- 九、新聞、雜誌、年報、一覽等ノ保管及出納ニ關スル事項
- 十、前各號ノ外圖書ニ關スル事項

第十四條 會計課ノ掌理スベキ事項概ネ次ノ如シ

- 一、資金ニ關スル事項
- 二、理事會ニ關スル事項
- 三、歳入、歳出、豫算及決算ニ關スル事項
- 四、經費ノ支拂ニ關スル事項
- 五、物品ノ購入、出納及保管ニ關スル事項
- 六、物品ノ貸借及修理ニ關スル事項
- 七、營繕ニ關スル事項
- 八、警備、災害防止及消毒ニ關スル事項
- 九、學校内外ノ掃除ニ關スル事項
- 十、物品檢閲ニ關スル事項
- 十一、會計ニ屬スル書類ノ整理及保存ニ關スル事項

校務分掌規程

- 十二、電話、電燈、瓦斯及給水ニ關スル事項
- 十三、傭人ノ進退及取締ニ關スル事項
- 十四、會計課主管ノ文書ノ起案及發送ニ關スル事項
- 十五、前各號ノ外會計ニ關スル事項

第十五條 學級主任ノ掌理スベキ事項概ネ次ノ如シ

- 一、擔任學級生徒ノ訓育指導ニ關スル事項
- 二、擔任學級生徒ノ學業、操行、勤惰、運動及健康ニ關スル事項
- 三、學校ト家庭トノ連絡ニ關スル事項
- 四、擔任學級生徒ニ對シ學校ノ命令諭告等ノ徹底ニ關スル事項
- 五、當該教室ノ秩序、清潔ノ保持ニ關スル事項
- 六、擔任學級生徒ノ集會ニ關スル事項
- 七、擔任學級生徒ヨリ提出スル願、屆書類ノ審査ニ關スル事項
- 八、其ノ他擔任學級生徒ニ關スル一切ノ事項

第十六條 學科主任ノ掌理スベキ事項概ネ次ノ如シ

- 一、當該學科ノ教授要目及授業分擔ニ關スル事項

- 二、當該學科ノ教授ノ統一及改善ニ關スル事項
- 三、當該學科ノ教科書及參考用圖書ニ關スル事項
- 四、當該學科ノ成績考查及入學試験ニ關スル事項
- 五、當該學科ノ教員室、特別教室其ノ他所屬各室ニ屬スル設備又ハ備品ノ保管及取扱ニ關スル事項
- 六、其ノ他當該學科ニ關スル一切ノ事項

## 五、會議規程

第一條 本校ニ左ノ會議ヲ設ク

- 一、教員會議
- 二、學級主任會議
- 三、學級教員會議
- 四、學科目教員會議

第二條 教頭、教務課長及生徒課長ハ前條各種ノ會議ニ列席スルモノトス

第三條 教員會議ハ本校專任ノ教員ヲ以テ之ヲ組織シ必要ニ應ジ學校長之ヲ召集ス但シ場合ニ依リ專任教員以外ノ教員ヲ列席セシムルコトアルベシ

第四條 教員會議ハ學校長ノ諮詢ニ應ジ左ノ事項ヲ審議ス

一、學科課程ニ關スル事項

二、授業ニ關スル事項

三、生徒ノ進級ニ關スル事項

四、生徒ノ指導ニ關スル事項

五、前項ノ外學校長ニ於テ必要ト認メタル事項

第五條 學級主任會議ハ各學級ノ學級主任ヲ以テ組織ス

第六條 學級主任會議ハ概ネ左ノ事項ニ就キ審議ス

一、生徒ノ訓育指導ニ關スル事項

二、學級間ノ連絡統一ニ關スル事項

三、學校ト生徒トノ意志融和ニ關スル事項

四、其ノ他此ノ會議ニ於テ審議スルヲ適當ト認メタル事項

第七條 學級教員會議ハ各學級ノ授業ヲ擔任スル教員ヲ以テ組織ス

第八條 學級教員會議ニ於テ議スベキ要項左ノ如シ

一、生徒各個ノ性狀調査ニ關スル事項

二、生徒各個ノ指導ニ關スル事項

三、生徒各個ノ健康狀態ニ關スル事項

四、生徒各個ノ負擔ニ關スル事項

五、各學科目教授ノ進度並連絡ニ關スル事項

六、各學級ノ衛生及整頓ニ關スル事項

七、其ノ他當該學級ニ關スル重要ナル事項

第九條 學科目教員會議ハ同一學科ヲ擔任スル教員ヲ以テ組織ス

第十條 學科目教員會議ニ於テ議スベキ要項左ノ如シ

一、教授要項ニ關スル事項

二、教授方法ニ關スル事項

三、教科用圖書ニ關スル事項

四、參考書、教授用具等ニ關スル事項

五、其ノ他當該學科目ニ關スル重要ナル事項

## 六、當直規程

- 第一條 當直ハ常日、半日及休日ノ三種トス  
勤務時間凡ソ左ノ如シ
- 常日 午後四時ヨリ翌日始業相當時迄  
半日 正午ヨリ翌日始業相當時迄  
休日 始業相當時ヨリ翌日始業相當時迄
- 第二條 當直ハ學校長ノ指定シタル職員、雇及傭人輪番ヲ以テ服務スベシ
- 第三條 當直ハ庶務課ニ於テ日割ヲ定メ一週前迄ニ之ヲ發表シ各當直員ニ通知スベシ
- 第四條 當直員ハ其勤務時間中ハ外出スルコトヲ得ズ
- 第五條 當直員當直ヲ爲シ能ハザル事由アルトキハ代人ヲ立テ庶務課ニ届出ヅベシ  
當直中臨時ノ故障ニ依リ當直ヲ爲シ能ハザルトキハ庶務課長ニ届出デ其ノ指示ヲ受クベシ
- 第六條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ハ其ノ期間當直ヲ免除ス
- 一、病氣欠勤七日以上ニ及ブトキ

- 二、忌引中
  - 三、賜暇中
  - 四、出張ノ前日ヨリ歸校ノ翌日迄
  - 五、新任者着任ノ日ヨリ七日以内
  - 六、其ノ他學校長ニ於テ除直ヲ必要ト認メタルトキ
- 前項ニ依リ當直ニ缺員ヲ生ジタル場合ハ當直順位ニ依リ順次ヲ繰リ上ゲテ之ヲ補フモノトス
- 第七條 當直員勤務ノ主要事項凡ソ左ノ如シ
- 一、御影及 勅語謄本ノ奉護ニ關スルコト
  - 二、校舎ノ鎖鑰ヲ管守スルコト
  - 三、校舎内外ノ警備ニ關スルコト
- 注意 夜中二回以上校舎内外ヲ巡視シ火氣戸締ニ留意シテ出火又ハ盜難ヲ警戒スベシ冬期、地震又ハ暴風雨ノ際ニハ特ニ警戒ヲ嚴重ニスベシ
- 第八條 當直中到達スル文書、物品及發送ヲ要スル文書ハ當直ニ於テ左ノ區別ニ從ヒ取扱フベシ
- 一、至急ヲ要スルモノハ（電話ハ其ノ要領ヲ記シ）直ニ主務者ニ送付シ或ハ適宜ノ處置ヲ爲ス

- ベシ
- 二、至急ヲ要セザルモノハ取纏メ翌日庶務課ニ送付スベシ休日ナルトキハ交替ノ當直員ニ引繼グベシ
- 第九條 當直中ノ事項ハ當直日誌ニ記載シ翌日庶務課長ノ檢印ヲ受クベシ
- 第十條 當直中出火、近火ハ勿論、風水震災、盜難等非常異變アルトキハ直ニ學校長、教頭並庶務課長ニ急報スルト同時ニ臨機ノ處置ヲ爲スベシ

## 七、非常時警備規程

- 第一條 校内出火、近火其ノ他非常異變ノ際ハ職員ハ直ニ現場ニ駆付ケ上席者ノ指揮ニ從ヒ協力シテ消火、防火其ノ他臨機ノ處置ヲ爲スベシ
- 第二條 當直時間中ニ於テ前條ノ變災事出來セシトキハ校長、教頭並庶務課長ニ急報シ其ノ指揮ニ從ヒ應急ノ處置ヲ爲スベシ
- 事火急ニシテ指揮ヲ受クル餘裕ナキトキハ先ヅ臨機應急ノ處置ヲナシタル後報告スベシ
- 第三條 非常手配ノ部署ヲ分チテ本部、奉安所係、警戒部、防火部、運搬部トス

前項部署ノ外狀況ニ依リ豫備部ヲ設ク

第四條 職員ノ部屬ニ就キ豫メ定ムルコト左ノ如シ

- 一、在校上席職員ハ本部ノ司令トナル
- 二、在校次席職員ハ奉安所係トナル
- 三、非常時登校セシ職員ハ本部司令ノ指揮ニ從ヒ警戒、防火、運搬ノ各部署ニ就クベシ
- 四、各部配屬ノ上席職員ヲ以テ其ノ部ノ部長トス

前項以外諸員ノ部屬ハ緩急ニ應ジ臨機司令ニ於テ之ヲ定ムベシ

第五條 校内出火、近火其ノ他非常變災ノ際ハ上席職員ハ臨機適當ノ場所ニ本部ヲ開設シ其ノ所在ヲ明示スベシ

第六條 奉安所係ハ奉安所ニ參集シ附近ヲ警衛シテ萬遺漏ナキヲ期スベシ

奉遷ノ必要アリト認メタルトキハ 御影ヲ奉護シ 勅語謄本ト共ニ左ノ奉遷所ニ奉遷スベシ

第一奉遷所 本山第二國民學校

第二奉遷所 本山第一國民學校

第七條 警戒部員ハ部長ノ指揮ニ從ヒ校舍内外ノ警戒ニ努ムベシ

支關並本門ニ受付ヲ設ケ見舞人ノ氏名ヲ記帳スベシ

第八條 防火部員ハ部長ノ指揮ニ從ヒ消火器具機械ヲ使用シテ消火防火ニ努ムベシ

第九條 運搬部員ハ部長ノ指揮ニ從ヒ運搬具ヲ利用シテ書類又ハ物品ヲ安全ノ場所ニ運搬シ散逸セザル様警戒スベシ

書類又ハ物品ノ搬出ハ火急ヲ要スル場所ヲ第一トシ迅速ニ行動スベシ

第十條 豫備部員手配ノ大要ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、救護所ヲ開設シ救急藥品等ヲ準備スベシ

二、必要ト認メタルトキハ本部ト連絡シテ飲食供給ノ手配ヲ爲スベシ

三、司令ノ命ニ依リ又ハ各部ノ請求ニ依リ隨時他部係ニ應援スベシ

第十一條 各部係員ハ當該部係長ノ指揮ニ服從スルハ勿論協力動作シテ夫々其ノ機能ヲ十分ニ遂行スベシ

第十二條 事危急ノ場合ニシテ指示ヲ待ツ能ハザルトキハ各部係員ハ臨機獨斷ヲ以テ專行スベシ

## 八、圖書規程

第一條 本校所屬ノ圖書ハ總テ圖書課ニ於テ保管ス

第二條 本校職員生徒及特ニ學校長ノ許可ヲ得タル者ハ本校所屬ノ圖書ヲ閱覽スルコトヲ得

第三條 本校ノ職員ハ所定ノ手續ヲ經テ圖書ヲ借受ケ之ヲ携出スルコトヲ得但シ貴重圖書、辭書類及閱覽室備付ノ圖書ハ特ニ學校長ノ許可アルニ在ラザレバ之ヲ携出スルコトヲ得ズ

第四條 授業上及事務上特ニ必要ナル圖書ハ學校長ノ許可ヲ得テ特別ノ場所ニ備ヘ置クコトヲ得但シ教員室備付ノモノハ當該學科主任、事務室備付ノモノハ各課主任之ヲ借受ケ其保管ノ責任ズルモノトス

第五條 借用ノ圖書ハ使用終ラバ速ニ返納スベシ使用ノ完否ニ關ラズ毎年第一學期末指定期日內ニ悉皆返納スベシ但シ時宜ニ依リ隨時返納セシムルコトアルベシ

第六條 職員閱覽室ニ入ルコトヲ得ル者ハ本校職員及特ニ學校長ノ許可ヲ得タル者、生徒閱覽室ニ入ルコトヲ得ル者ハ本校生徒ニ限ル

第七條 生徒ニハ每學年ノ始ニ於テ圖書閱覽券ヲ交付ス



閱覽券ハ他人ニ轉貸スルヲ許サズ若シ之ヲ紛失シタルトキハ直ニ圖書課ニ届出ヅベシ

第八條 圖書ヲ閱覽セントスル者ハ圖書閱覽券ヲ差出シ所定ノ手續ヲ履ミテ之ヲ借受クベシ但シ閱覽室備付ノ圖書ハ此ノ手續ヲ要セズ

第九條 生徒ハ一時ニ洋裝圖書四冊ヲ限リテ借覽スルコトヲ得但シ和裝圖書ハ二冊ヲ以テ洋裝圖書一冊ト見做ス

第十條 閱覽室ハ休日ノ外毎日之ヲ開ク開閉ノ時限ハ隨時之ヲ揭示ス

第十一條 閱覽室ニ在リテハ生徒ハ左ノ各項ヲ確守スベシ

- 一、靜肅ヲ旨トスルコト
- 二、制服又ハ袴ヲ着用シ且脱帽スルコト
- 三、閱覽室備付及借受ノ圖書等ヲ閱覽室外ニ携出セザルコト
- 四、音讀雜誌等他人ノ妨害トナルベキ行爲ヲ爲サザルコト
- 五、必要ナキ物品ヲ携入セザルコト
- 六、閱覽室ノ圖書ハ直ニ之ヲ返納スルコト
- 第十二條 閱覽室内ニ於テ不都合ノ行爲アリタルトキハ直ニ退去ヲ命ズベシ
- 第十三條 本校所屬ノ圖書ヲ紛失又ハ毀損シタル者ハ之ガ辨償又ハ修理ノ責ニ任ゼシムルコトアリ

ルベシ

## 九、總代、學級幹事規程

- 第一條 各學級ニ學級幹事二名ヲ置ク
- 第二條 學級幹事ハ其ノ學級生徒中ニ就キ品行並學業成績等ヲ審査シテ學校長之ヲ命ズ
- 第三條 總代ハ高等科文科第三學年及理科第三學年ノ學級幹事ヲ以テ之ニ充ツ
- 第四條 總代及學級幹事ノ任期ハ各一學年間トス
- 第五條 總代ハ生徒全體ヲ代表スル必要アル場合ニ於テ之ニ從事ス
- 第六條 學級幹事ハ學級主任ノ指揮ヲ受ケ其ノ學級ノ風紀ニ注意シ示達、命令ヲ傳達シ教室内ノ整頓清潔ヲ保持スベシ

## 一〇、服裝規程

- 第一條 生徒登校ノ際ハ必ず所定ノ制服ヲ着用スベシ

總代、學級幹事規程 服裝規程

登校以外ト雖外出ノ際ハ成ルベク制服ヲ着用スベシ若シ和服ヲ着用スル場合ハ必ず制帽並袴ヲ着用スベシ

第二條 病氣其ノ他已ムヲ得ザル事故ニ因リ登校ノ際制服ヲ着用スルコト能ハザル者ハ事由ヲ具シ其ノ旨生徒課ニ届出ヅベシ

第三條 生徒ノ制服ヲ定ムルコト左ノ如シ

帽 キヤツプ型 黒絨地 所定ノ帽章ノ外高等科ハ二條ノ白線(幅約六耗)横章ヲ附ス  
服 詰襟脊廣型 冬服ハ黒若クハ濃紺絨地 夏服ハ霜降小倉地 釦ハ高等科ハ校章入黒

練物 尋常科ハ同金色金屬製

靴 黒革編上ゲ

第四條 體操教練用ノ服及脚絆ハ別ニ之ヲ指定ス

第五條 外套ヲ調製セムトスル者ハ次ノ制式ニ依ルベシ

尋常科 立襟兩前 校章入金色金屬製釦附 外套又ハマント 黒又ハ濃紺絨地

高等科 同上又ハ普通型オーバーコート 色合及地質尋常科ニ同ジ

臨時附則 當分ノ内制服ノ一部ヲ變更スルコトアルベシ

外套ハ當分ノ内之ガ新調ヲ見合ハスベシ

(昭和一六、六)

## 一一、甲南高等學校報國團規則 (昭和一六、四)

### 第一章 總 則

第一條 本團ハ甲南高等學校報國團ト稱シ本校ノ職員生徒全員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二條 本團ハ「青少年生徒ニ賜ハリタル 勅語」ノ聖旨ヲ奉體シ職員生徒一體トナリテ心身ヲ鍊磨シ校風ヲ作興シ以テ負荷ノ大任ニ堪フベキ人物ヲ鍊成スルヲ以テ目的トス

### 第二章 事業組織

第三條 前條ノ目的ヲ達成スル爲本團ニ左ノ五部ヲ設置ス

一、總務部

二、鍛鍊部

三、國防訓練部

四、文化部

五、生活部

第四條 總務部ハ本團ノ企畫統制ノ中樞機關トシテ年度事業ノ大綱ヲ定メ他ノ部ニ屬セザル全

般的事業ヲ執行シ又他ノ部ノ事業ノ運營經理ニ付必要ナル指揮監督ヲ爲ス  
總務部ニ庶務係及會計係ヲ設置シ本團ノ庶務會計ヲ擔當セシム

第五條 鍛鍊部ニ左ノ十班ヲ置ク

柔道班、劍道班、弓道班、蹴球班、籠球班、競技班、野球班、庭球班、剛健旅行班、  
保健班（排球、徒歩、園藝等）！！

第六條 國防訓練部ニ左ノ五班ヲ置ク

射擊班、騎道班、自動車班、航空班、滑空班

第七條 文化部ニ左ノ五班ヲ置ク

學術班、辯論班、修養班、美術班、音樂班

第八條 生活部ニ左ノ四班ヲ置ク

調査班、指導班、改善班、社會見學班

第九條 生徒ハ必ズ鍛鍊部及國防訓練部ノ各一以上ノ班ニ於テ修練スルモノトス

第三章 役員及其ノ職掌

第十條 本團ニ左ノ役員ヲ置ク

團長 一名 學校長之ニ當ル

部 長 各部一名 教授、生徒主事及配屬將校中ヨリ之ヲ任ズ

總務部理事 若干名 生徒主事、部長、學級主任中ヨリ之ヲ任ズ

班 長 各班一名 教授、生徒主事及教諭中ヨリ之ヲ任ズ

總務部幹事 若干名 學級幹事及部幹事中ヨリ之ヲ命ズ

學級幹事 各學級若干名 其ノ學級ニ屬スル生徒中ヨリ之ヲ命ズ

部 幹 事 各部若干名 生徒中ヨリ之ヲ命ズ

班 幹 事 各班若干名 生徒中ヨリ之ヲ命ズ

庶務及會計係員 各若干名 職員中ヨリ之ヲ任ズ

役員ハ毎年四月團長之ヲ任命ス

第十一條 本團役員ノ職掌左ノ如シ

團長ハ本團ヲ統轄シ役員ノ任免ヲ行フ

總部部長ハ團長ヲ輔佐シ部務ヲ掌理ス

部長ハ各擔任部務ヲ掌理ス

總務部理事ハ其ノ部長ヲ輔佐シ部務ニ參畫ス理事中若干名ヲ常務理事トス

班長ハ部長ヲ輔佐シ各擔任班務ヲ掌理ス

總務部幹事ハ生徒團員ヲ代表シ總務部長ノ指導ノ下ニ部務ニ參畫ス  
學級幹事ハ其ノ學級ヲ代表シ總務部長ノ指導ノ下ニ總務部トノ連絡ヲ圖ル  
部幹事及班幹事ハ各々部長又ハ班長ノ指導ノ下ニ部務又ハ班務ニ從事ス  
庶務及會計係員ハ總務部長ノ指揮ノ下ニ庶務、會計ノ事務ニ從事ス

第四章 役員會

第十二條 團長ハ必要ニ應ジ其ノ諮問機關トシテ顧問ヲ置クコトヲ得

第十三條 團長ハ必要ニ應ジ一部又ハ全部ノ役員會ヲ召集ス

第十四條 役員會ノ議事ハ衆議統裁ノ方針ニ基キ各役員ノ所見ヲ徵シタル上團長ノ決裁スル所ニ依ル

第十五條 本團ニ總務部企畫會議ヲ置キ總務部長、總務部理事ヲ以テ組織シ本團事業ノ企畫統制ニ關シ協議ス

第十六條 左ノ事項ノ決定ハ總務部企畫會議ヲ經テ團長ノ決裁ヲ受クベキモノトス

一、豫算及豫算以外ノ臨時支出

二、本規則ノ改廢

三、其ノ他重要ナル事項

第五章 會計

第十七條 本團ノ會計年度ハ四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第十八條 生徒ハ團費トシテ年額金拾五圓ヲ、新入生ハ別ニ入團金七圓ヲ納付スベシ

休學者ノ團費ハ授業料ノ取扱ニ準ズ

職員ハ團費トシテ年額其ノ月俸ノ百分ノ五ヲ納付スルモノトス

第六章 附則

第十九條 本團各部ノ事業運營及會計經理ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

一二、甲南高等學校報國團細則(昭和十六、四)

第一 總務部細則

第一條 總務部ハ本團機關誌ヲ編輯發行シテ事業報告、研究作品等ノ發表ニ資ス

第二條 總務部ハ隨時聯合體育大會等ヲ主催ス

第二 鍛鍊部細則

第一條 各班ニ對スル生徒ノ配當ハ各班ノ設備、生徒ノ希望、能力及健康狀態等ヲ考慮シ部長

班長及學級主任之ヲ定ム

季節其ノ他ノ事情ニ因リ長期ニ亘リ鍛鍊ヲ行ヒ得ザル者ハ一時他ノ班ニ之ヲ配當ス

第二條 鍛鍊ノ日時割ハ學業及設備ノ情況其ノ他ヲ考慮シ部長、班長及學級主任之ヲ定ム

第三條 尋常科第一學年生徒ニ對シテハ基礎體力ヲ作ルニ適當ナル各種運動ヲ行ハシム

第四條 作業訓練ハ適宜之ヲ實施ス

第五條 各班ハ隨時校内試合ヲ行フ

第六條 凡テ他校ト關聯シテ試合、練習及合宿ヲ爲サントスル時ハ總務部企畫會議ヲ經テ團長ノ許可ヲ受クベシ

第七條 鍛鍊ニ際シテハ左ノ事項ニ留意スベシ

一、嚴格ナル規律ノ下ニ鍛鍊主旨ノ徹底ヲ期スルコト

二、所定ノ時間ヲ嚴守スルコト

三、鍛鍊ノ開始及終了ノ際必ズ出缺調査ヲ行フコト

第三 國防訓練部細則

第一條 國防訓練部ニ加入スルハ尋常科第四學年以上ノ生徒トス但シ滑空班ニ限り尋常科第三學年以下ノ希望者ノ參加ヲ許可スルコトアルベシ

第二條 各班ニ對スル生徒ノ配當ハ各班ノ設備、生徒ノ希望、能力及健康狀態等ヲ考慮シ部長班長及學級主任之ヲ定ム

第三條 訓練ノ日時割ハ學業及設備ノ情況其ノ他ヲ考慮シ部長、班長及學級主任之ヲ定ム

第四條 訓練ノ爲ニ旅行シ合宿シ又ハ校外ノ施設、用具等ヲ使用セントスル時ハ總務部企畫會議ヲ經テ團長ノ許可ヲ受クベシ

第五條 訓練ニ際シテハ左ノ事項ニ留意スベシ

一、嚴格ナル規律ノ下ニ訓練主旨ノ徹底ヲ期スルコト

二、所定ノ時間ヲ嚴守スルコト

三、訓練ノ開始及終了ノ際必ズ出缺調査ヲ行フコト

第四 文化部細則

第一條 會合、行事ヲ行ハントスル時ハ豫メ日時、場所、行事ノ内容等ニ就キ班長部長ヲ經テ團長ノ許可ヲ受クベシ

第二條 會合、行事ヲ行ヒタル場合ハ其ノ情況ノ概略及出席者ノ氏名人數等ヲ記錄スベシ

第五 生活部細則

第一條 調査班ハ下宿、宿舍、合宿及一般生活情況、健康狀態其ノ他必要ナル事項ヲ調査ス

第二條 改善班ハ生徒ノ生活ノ便益ヲ圖リ施設ノ改善ニ當ル

第三條 指導班ハ生徒ノ生活ニ於ケル指導監督ニ任ズ

第四條 社會見學班ハ社會一般ノ有益ナル見學ヲ行ヒ生徒ノ識見向上ニ資ス

第六條 會計經理細則

第一條 豫算編成ノ手續左ノ如シ

一、班長ハ毎年十一月末日迄ニ班豫算案ヲ部長ニ提出シ部長ハ十二月末日迄ニ之ニ基キテ部豫算案ヲ作成シテ總務部長ニ提出スベシ

二、總務部長ハ總務部企畫會議ニ於テ各部長ノ提出シタル部豫算案ヲ査定シテ團豫算案ヲ作成ス

三、團長ハ右豫算案ニ基キ次年度ノ豫算ヲ決裁シ毎年二月初旬之ヲ公示ス

第二條 支出購入手續左ノ如シ

一、現金及物品ノ出納ハ會計係之ヲ掌ル

二、經費ノ支出ヲ要スルトキハ班長ハ所定ノ請求傳票ニ品目、價格、數量等ヲ記入シ部長ノ手ヲ經テ總務部長ニ提出シ總務部長ハ審査ノ上團長ノ決裁ヲ經テ之ヲ會計係ニ廻付スルモノトス

三、會計係ハ物品ヲ購入シタル場合ハ交付物品(備品)臺帳ニ、修繕シタル場合ハ修理傳票ニ記帳シテ之ヲ部又ハ班ニ交付ス

四、團長ノ承認ナキ物品ノ購入ニ對シテハ一切其ノ責ニ任ゼズ

三條 決算ノ手續左ノ如シ

總務部長ハ會計係ヲシテ決算書ヲ作成セシメ團長ノ決裁ヲ經テ翌年度初ニ之ヲ公示ス

第四條 帳簿ノ取扱左ノ如シ

一、會計係ハ徵收臺帳及出納簿ヲ備ヘ之ニ記入スベシ

二、會計係ハ現金出納簿ヲ管理スベシ

三、會計係ハ各部各班ノ交付物品(備品)臺帳ヲ管理スベシ

### 一三、理事及職員

#### 1、理事 (ABC順)

理事長  
 安宅彌吉  
 平生鈞三  
 伊藤忠兵衛  
 久原之助  
 野村德七  
 關桂三

#### 2、職員

學校長  
 平生鈞三  
 野村貞祐  
 顧問  
 (京都帝國大學教授) 文學博士 文學士  
 天野眞祐  
 高等科  
 (擔任學科別就任順)

修身、哲學概説、心理、論理

(留學中)

國語

漢文  
 英語

(大阪高等學校教授)

職員  
 同獨同同同同同同同同  
 同獨同同同同同同同同  
 同獨同同同同同同同同

文學士 教授  
 篠原寛二  
 菅原幸一  
 市川隆二  
 長谷川直次郎  
 丸山正三郎  
 六角倉保  
 秋山宗治  
 寺井邦男  
 松田清二  
 (ロバート、ツム、フィンチャー、)  
 酒井賢  
 壘信行  
 近成一行  
 堀田正一  
 村尾喜夫





職員

國語及漢文

(留學中)

文學士

教授

○菅

原幸

一

英語

(習字)

文學士

教授

○丸

山正

三

同

同

同

○長

谷川

直次

同

同

同

○藤

澤正

俊

同

同

同

○引

間雄

吉

同

同

同

○秋

山宗

治

同

同

同

○松

田清

二

同

同

同

○松

井武

敏

同

同

同

○鹽

見高

年

同

同

同

○寺

澤英

一

同

同

同

○黑

田電

夫

同

同

同

○正

野大

男

同

同

同

○水

野義

男

理

科(化學)

理學士

教授

○中

田久

和

同

(博物) 作業

理學士

教授

○熊

谷初

三

同

(同)

理學士

教授

○市

川衛

次

同

(同)

理學博士

教授

○秋

野安

治

同

(同)

理學士

教授

○小

野安

治

同

(同)

理學士

教授

○野

田景

順

同

(體操、劍道)

陸軍准尉

教授

○池

尻景

順

同

(體操、柔道)

陸軍准尉

教授

○後

藤素

直

同

(體操)

陸軍准尉

教授

○佐

藤繁

直

同

(教練)

陸軍大尉

教授

○田

中竹

藏

同

(同)

陸軍中尉

教授

○中

村正

五

同

(同)

陸軍准尉

教授

○久

保宇

市

同

教務、庶務

書記

書記

○西

村秀

治

同

職員

書記

書記

○久

永丑

次郎

同

職員

書記

書記

○五

七

治

職員

圖書會計

助手

書記

赤羽健吉  
小崎富太

物理教室

化學教室

(應召中)

同 博物教室

(應召中)

同 博物教室

雇

教、庶務課

生徒課

會計課

寄宿寮

雇

長田カメ子  
藤田和夫  
今井和夫  
山添ハナ

學校醫

(財團法人甲南病院長)

醫學博士 醫學士

學校醫

岡

通

### 3、學級主任

高等科文科第三學年	同 理科第三學年	同 文科第二學年	同 理科第二學年	同 文科第一學年	同 理科第一學年	尋常科第四學年A組	同 同 同 同 同 同	同 第三學年A組	同 同 同 同 同 同	同 第二學年A組	同 同 同 同 同 同	同 第一學年A組	同 同 同 同 同 同	學科主任
-----------	----------	----------	----------	----------	----------	-----------	-------------	----------	-------------	----------	-------------	----------	-------------	------

教授	同 教授	同 教授	同 教授	同 教授	同 教授	同 教授	同 教授	同 教授	同 教授	同 教授	同 教授	同 教授	同 教授	同 教授
----	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------

中嶋一郎	正田喜夫	村尾喜夫	市川英衛	氷上英廣	水野義男	中田久和	丸山正三郎	市川隆二	鈴木宰次	松田清二	松井武敏	熊谷初三	五九
------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	----

學科主任  
尋常科第一學年B組

4、學科主任

國語及漢文	修身、哲學、論理、心理	英語	獨語	歷史	地理	法制及經濟	數學	生物	化學	物理	博物	圖書
(留學中)												
(代理)												

教諭

六〇  
引間雄吉

菅原寬二	市川隆一	宍倉保二	中島一郎	岩崎孫八	浦谷清八	藤岡茂大	正田大	中田久和	市川久衛	有田實吉	講師

唱體武

歌操道

5、事務分課

教頭

教頭

教授

岩崎孫八

教務課 庶務課

教授、教頭

岩崎孫八

教務課長兼庶務課長  
教務課參與  
庶務課參與

同書記	同教授	正田大	中田久和	西村秀治	久永丑次郎	長田力子	同書記	同教授	正田大	中田久和	西村秀治	久永丑次郎	長田力子

事務分課

六一

事務分課

生徒課

課長

教授兼生徒主事

寺井邦男

同

守谷英次

生徒主事兼教授

上阪潔

參與

教諭

引間雄吉

同

野田秀造

同

後藤素直

同

田中竹藏

同

佐藤繁

同

中村正五郎

同

久保宇市

同

藤田博

同

赤羽健吉

教授

篠原寛二

書記

今井和夫

課

事務分課

教授兼生徒主事

寺井邦男

同

守谷英次

生徒主事兼教授

上阪潔

參與

教諭

引間雄吉

同

野田秀造

同

後藤素直

同

田中竹藏

同

佐藤繁

同

中村正五郎

同

久保宇市

同

藤田博

同

赤羽健吉

教授

篠原寛二

書記

今井和夫

課

事務分課

教授兼生徒主事

寺井邦男

同

守谷英次

生徒主事兼教授

上阪潔

參與

教諭

引間雄吉

同

野田秀造

同

後藤素直

同

田中竹藏

同

佐藤繁

同

中村正五郎

同

久保宇市

同

藤田博

同

赤羽健吉

教授

篠原寛二

書記

今井和夫

課

圖書課

教授

赤羽健吉

書記

今井和夫

課

會計課

書記

今井和夫

同舍

甲南の寮

監(長)

教授兼生徒主事  
生徒主事兼教授

守谷英次  
上阪潔  
山添ハナ

6、報國團役員(職員)

團長 平生校長

團長代理 天野顧問

顧問 井原大佐

顧問 穴倉教授

顧問 藤岡教授

顧問 中島教授

顧問 岩崎教授

顧問 寺井教授(常務)

顧問 守谷教授(常務)

顧問 正田教授

顧問 篠原教授

報國團役員(職員)

報國團役員(職員)

中田教授  
 庶務會計係 上阪生徒主事  
 西村 小崎 赤羽 久永 各書記 今井 履

部 長

柔道班長 後藤 教授  
 蹴球班長 市川(衛) 教授  
 野球班長 長谷川 教授  
 保健班長 熊谷 教授  
 劍道班長 野田 教授  
 籠球班長 村尾 教授  
 庭球班長 水野 教授  
 (補助) 野田 教授 後藤 教授  
 弓道班長 引間 教授  
 競技班長 市川(隆) 教授  
 剛健旅行班長 松井 教授

部 長

射擊班長 中村 教授  
 航空班長 松田 教授  
 騎道班長 巖 教授  
 滑空班長 松田 教授  
 自動車班長 久保 教授

文 化 部

部 長 篠原 教授  
 學術班長 氷上 教授  
 美術班長 小野 教授  
 辯論班長 秋山 教授  
 音樂班長 中島 教授  
 修養班長 丸山 教授

生 活 部

部 長 中田 教授  
 調查班長 黒田 教授  
 社會見學班長 上阪 教授  
 指導班長 豊見 教授  
 改善班長 鈴木 教授

一四、各種統計表

1、現在學年別生徒數 (昭和十六年四月末日現在)

高 等 科

學 年	文 科		理 科		合 計
	甲 類	乙 類	甲 類	乙 類	
第一學年	二	三	三	三	八
第二學年	二	二	九	二	七
第三學年	三	一	一〇	二	七
計	五	六	二二	八	三六

各種統計表 現在學年別生徒數

現在學年別生徒數 現在生徒父兄住所地方別

學年	第一學年		第二學年		第三學年		第四學年		合計
	A	B	A	B	A	B	A	B	
生徒數	40	40	35	34	39	39	37	33	289

2、現在生徒父兄住所地方別 (昭和十六年四月末現在)

地方別	尋常科					高等科			合計
	一學年	二學年	三學年	四學年	計	文	理	等	
京都府	4	2	1	2	9	3	2	1	16
大阪府	3	1	1	4	9	1	3	2	15
大坂市	4	2	1	4	11	3	6	2	22
其他	3	1	1	2	7	2	4	1	14
兵庫	9	6	4	8	27	3	3	3	36
神戶市	3	3	2	5	13	2	2	3	18
阪神間	1	6	4	8	19	3	3	3	25
其他	1	1	2	2	6	1	1	1	9
合計	28	21	12	29	90	18	25	16	139

3、累年在學生徒數 (各年度三月一日現在)

外	其他內地道府縣	合計	
		計	地
其他內地道府縣	5	2	3
其他	2	1	3
合計	1	3	4

累年在學生徒數

年度	尋常科				高等科			合計
	一學年	二學年	三學年	四學年	文	理	等	
大正十二年度	60	50	44	33	6	1	5	148
同十三年度	61	58	47	34	0	1	4	158
同十四年度	65	63	55	48	3	1	4	170
大正十五年度	69	63	62	50	3	2	4	180
昭和元年度	81	80	62	56	6	4	5	199
昭和二年度	82	80	62	56	6	4	5	199
同三年度	84	82	63	55	5	4	5	201
合計	511	482	413	337	33	18	26	1385

卒業生進入大學學部調

大 帝 都 京	大 帝 京 東	大 學 部	年 度	卒業回 次	
				正 大	和 昭
經 濟 學 部	小 經 濟 學 部	法 學 部	一	一	一
農 學 部	農 學 部	醫 學 部	二	二	二
理 學 部	理 學 部	工 學 部	三	三	三
文 學 部	文 學 部	文 學 部	四	四	四
工 學 部	工 學 部	工 學 部	五	五	五
醫 學 部	醫 學 部	醫 學 部	六	六	六
法 學 部	法 學 部	法 學 部	七	七	七
			八	八	八
			九	九	九
			一〇	一〇	一〇
			一一	一一	一一
			一二	一二	一二
			一三	一三	一三
			一四	一四	一四
			一五	一五	一五
			一六	一六	一六
			計		

六九

4、卒業生進入大學學部調

(自大正十五年三月(第十六回)至昭和十六年三月)

同 十五年 度	同 十四年 度	同 十三年 度	同 十二年 度	同 十一年 度	同 十年 度	同 九年 度	同 八年 度	同 七年 度	同 六年 度	同 五年 度	同 四年 度
六	六	六	七	六	六	七	六	六	七	六	八
七	六	六	七	七	七	七	六	六	七	七	六
六	六	六	七	七	六	七	七	六	七	七	六
六	七	七	七	六	七	六	七	七	六	七	七
二九	二八	二八	二八	二九	二九	三〇	三〇	三〇	二九	三〇	三〇
四〇	三六	三七	三三	四一	三六	三七	三六	三六	三八	三六	三八
三七	三七	三二	三八	三三	三五	二九	三三	三六	三七	三三	三四
三五	三一	三九	二五	三五	二四	三三	三三	三三	三〇	三〇	一八
三七	三五	三六	四三	三六	四四	二九	三五	三六	四二	四二	三三
三七	三五	三八	二八	四二	二七	三四	三六	四〇	三三	三三	二四
二九	三四	二六	三四	二五	三〇	三六	三三	二八	三〇	二四	二四
二五	二〇	二七	二〇	二〇	一九	一九	二〇	二〇	一九	一九	一九
五〇	四九	四八	四八	四九	四八	五〇	五〇	五二	五〇	四九	四七

累年在學生徒數 卒業生進入大學學部調

六八

校地坪數

5、校地及校舎

備考 總計ハ各年度ノ卒業生數ト一致セリ

總計	其他	私立大學	其他ノ官公立大學	單科醫大	官立商大	大帝屋古名		
						小計	理學部	醫學部
豐				一				
杏	一		一	四				
大	二			四				二
杏	四		二	五	三			二
豐	一	二	一	三	四			三
三				五	七			二
八	二	二		一	一〇			一
八	一		二	二	三			一〇
八	一	一		一	四			四
六		三		四	一〇	一	一	一七
五		一	一		二			四
五				一	九	二	二	一五
五		二			七	二	一	一六
四				四	三	一	一	四
四					一〇	一	一	三
三	一				六	一	一	三
九	一	一	七	三	一五	八	三	一三

阪大	大帝道海北	大帝州九				大帝北東			小計
		小計	理學部	法文學部	農學部	工學部	理學部	法文學部	
									豐
									天
工									六
醫									三
學									二
部									〇
									八
									八
									七
									七
									五
									二
									三
									九
									二
									九
									〇
									〇〇〇



校地及校舎

校舎敷地 七、六四九、〇〇坪	運動場 三、七三二、五三坪	作業地 一、二五五、三三坪	寄宿敷地 五、六四〇、〇〇坪	寄宿道場 敷定地 一、八八三、〇〇坪	職員住宅敷地 一、五二〇、〇〇坪	合計 二六、六七三、〇五坪
-------------------	------------------	------------------	-------------------	--------------------------	---------------------	------------------

校舎坪數

建物	構造	坪數	建物	構造	坪數
本館	鐵筋混凝土三階建	四三、三〇	食堂	鐵筋混凝土二階建 (階下)	一九、三三
普通教室	同 (二棟)	八一〇、〇〇	集會室	同 (階上)	五三、三三
特別教室	同	四六、六九	授房機關室	鐵筋混凝土平家建	一〇、〇〇
講堂	鐵筋混凝土平家建	二五、九七	其他	木造	一七、四七
屋內體操場	木造平家建	三〇、〇〇	籠球コート	パンキライ材板張 (屋外)	一〇、〇〇
武道道場	同	一四、〇〇	合計		二、八六八、〇八

其ノ他ノ建物坪數

建物	構造	坪數	建物	構造	坪數
寄宿寮	木造二階建	一〇八、六六	職員住宅	木造二階建 三戸	五七三、三二

昭和十六年八月五日印刷  
昭和十六年八月十五日發行

兵庫縣武庫郡本山村  
編纂兼發行者 甲南高等學校

電話御影四八七〇番

印刷人 藤井孝三  
神戸市葦合區八幡通四丁目一七一

印刷所 藤井印刷所  
電話葦合二六七五番  
神戸市葦合區八幡通四丁目一七一

416  
345

